

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 薬務課
 担当名: 医療機器等生産指導担当
 内線: 3639 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
S104	AED普及推進対策事業費			一般会計	衛生費	医薬費	薬務費	AED普及推進事業費	
事業期間	平成18年度～	根拠法令	なし			針路	03	介護・医療体制の充実	SDGsゴール 3
						分野施策	0305	医薬品などの適正使用の推進	SDGsターゲット 3-4
1 事業概要 突然の心停止から県民の尊い命を救うため、AEDの設置促進、救命講習会の受講促進など、AEDの普及を通じて県民の救命意識及び心停止者の救命救急の向上を図る。 イ 県民に向けたAEDに関する情報発信 △33千円 ウ 県有施設AEDの更新、新規設置 △559千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア AED設置情報提供システムの運用管理(通年) 1,210千円 心停止現場で迅速に救命活動を行えるよう、「AED設置情報提供システム」により県民に設置情報を提供 イ 県民に向けたAEDに関する情報発信(通年) 365千円→332千円 (ア) 県のホームページ、マスメディア等によりAEDの有用性、操作方法などの情報を提供 (イ) 消防本部、日本赤十字社埼玉県支部が開催する救命講習会の日程の公表、受講促進 ウ 県有施設AEDの更新、保守 2,673千円→2,114千円 (ア) AEDの更新及び保守管理 (イ) 県有施設に対する屋外用AED収納ボックスの設置 (2) 事業計画 ア AED設置届出数(累計)令和6年度末:15,000台(目標) イ 救命講習会の受講者数 令和6年度 :65,000人(目標) (3) 事業効果 ア AED設置届出数(累計)令和3年度末:14,089台 令和4年度末:14,172台 令和5年度末:14,590台 イ 救命講習会の受講者数 令和3年 :14,127人 令和4年 :41,158人 令和5年 :64,111人 【活動指標(アウトプット)】HPやパンフレットによるAED普及推進 【成果指標(アウトカム)】救命講習会の受講者数 65,000人 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 ア 民間企業等が設置したAEDの設置情報を地図情報化し、県民に情報提供 イ 消防本部や日本赤十字社埼玉県支部と連携し、救命講習会の受講促進 (5) 事業の終期を設定していない理由 本事業は地域保健医療計画の策定時に検討・見直しを行う予定 第8次計画 令和6年度～10年度:脳卒中医療及び心筋梗塞等の心血管疾患医療 (6) 補正予算の概要 イ 県民に向けたAEDに関する情報発信 執行節減による需用費の減 ウ 県有施設AEDの更新、新規設置 執行節減による備品購入費等の減					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.2人=11,400千円									
予算額				財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△592						△592	3,656	
現計額	4,248						4,248		

事業内訳書

事業名	A E D普及推進対策事業費		
単位事業名	県民に向けたA E Dに関する情報発信	予算額	△ 33千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△33	—	
合計	△33	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△33	—	執行節減による需用費の減
合計	△33	—	

単位事業名	県有施設のA E Dの更新、新規設置	予算額	△ 559千円
-------	--------------------	-----	---------

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△559	—	
合計	△559	—	

単位事業名	県有施設のAEDの更新、新規設置	予算額	△ 559千円
-------	------------------	-----	---------

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△49	—	執行節減による需用費の減
備品購入費	△510	—	執行節減による備品購入費の減
合計	△559	—	